

# 振動に関する説明書

事業者名称

事業場名称

設備名称

令和 年 月

連絡先

担当者 氏 名

所属部課

電話番号

主任技術者

氏 名

※担当者と主任技術者が同じ場合は、電気主任技術者の氏名は省略が可能です。

一 設置（変更）しようとする発電設備等の概要

事業者名 代表者の氏名 （代理人の職氏名） 住所		○○○○株式会社 代表取締役 ○○○○ （代理人○○） 県市町番地	
発電所（変電所等）の名称 発電所（変電所等）の所在地 常時使用する従業員数		○○発電所（変電所） ○○号発変電設備 県市町番地 人	
発電設備（変電設備等）の概要	発電設備等の設備番号 発電設備等の出力		
	圧縮機	種類 容量及び原動機の出力 個数 使用開始時時刻 使用終了時刻	
	破碎機	種類 容量及び原動機の出力 個数 使用開始時時刻 使用終了時刻	
	摩砕機	種類 容量及び原動機の出力 個数 使用開始時時刻 使用終了時刻	

（注） 1 特定施設の種別に応じ様式に準じて記載すること。

## 二 振動防止の方法

指 定 地 域 の 区 分 規 制 基 準 振 動 の 大 き さ	第 種		
	昼間	デシベル、夜間	デシベル
イ 発電設備（変電設備等）の振動の大きさ			
ロ 発電所等の境界線上の振動の大きさの推定値			
振 動 防 止 方 法 の 概 要			

## 三 添付図面

- イ 発電所（変電所等）の振動に関する設備の配置図
- ロ 発電所（変電所等）の境界周辺の状況を明示した図面
- ハ 境界線上の振動の大きさを記入した図面

## 備考

- 1 本説明書のうち一～三について、写しを一部提出すること。
- 2 本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A 4とすること。
- 3 振動防止方法の概要の欄には吊基礎、直接指示基礎（板ばね、コイルばね等を使用するもの）、空気ばねの設置等振動防止に関して講じようとする措置の概要を記載するとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 4 変更しようとする場合は、変更事項について変更前及び変更後の内容を併記すること。